

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	宮城県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	延岡市立西階中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	4	1	12	
生徒数	117	153	134	2	406	23

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を身に付けた生徒の育成

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

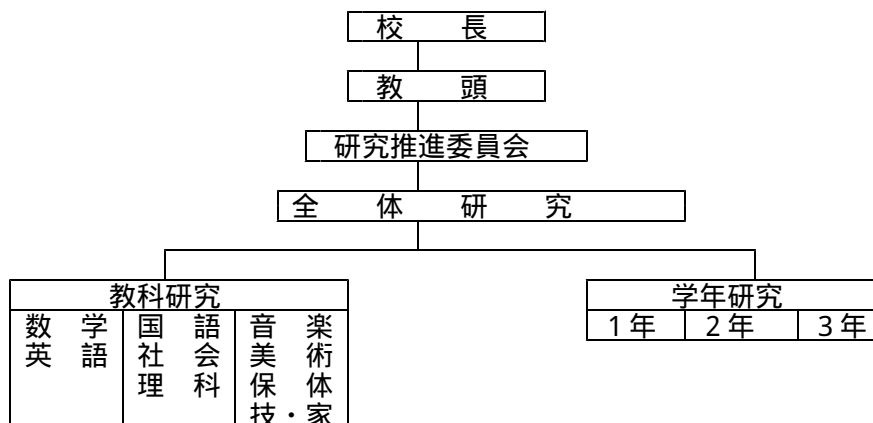
全学年・全教科	1年目に当たる研究であるため、実施学年・教科を絞らずに行った。
---------	---------------------------------

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>研究組織作り(「教科研究」と「学年研究」) 研究の柱の決定 教科研究 「より具体的な目標(文章または数値)を設定し、実践、検証、対応策を立て、新たな目標を設定するなど指導方法の工夫・改善の研究を行う。」 「生徒一人一人の実態に応じた成就感を持たせる指導方法の工夫・改善の研究を行う。」 学年研究 「学力向上に関する学年での様々な実践を通して、支援体制を整えていく。」 研究実践 ・実態把握(家庭学習に関するアンケート調査) ・数値目標を含めた具体的な目標の設定、検証、対応策を中間・期末テストで実践。 ・「宅習のススメ」による宅習指導及び「学習のてびき」の作成。 ・「授業チェック表」による生徒会活動。 ・生徒による授業評価、それに基づく授業改善。 幼・小・中の連携及び共通実践 ・「教師の学力に対する意識改革」「教科による到達目標の設定」「読む・聞くことの指導」「宅習の習慣化」についての研究実践。</p>
--------	---

平成16年度	<p>継続研究内容の重点化(研究主題:確かな学力を身に付けた生徒の育成) 教科研究 ・数値目標を含めた具体的な目標の設定の在り方。 ・生徒の学習意欲を高める教科指導の在り方。(教科通信,教材開発) ・「生徒による授業評価」による授業改善の在り方。 学年研究 ・「学習のススメ&学習のてびき」の有効な活用の在り方。 ・「ファンダメンタルテスト」の在り方。 ・生徒の生活習慣の見直し及び今まで以上の家庭との連携の在り方。 幼・小・中の連携及び共通実践 ・共通研究・実践内容の検討,取組,評価。 研究成果の普及 ・研究紀要の作成,配布。 ・ホームページに研究内容を掲載。</p>
--------	---

(3) 研究推進体制



幼・小・中の連携 南方幼稚園，南方小学校

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- (1) 学力向上への研究を進めることにより、今まで以上に教師の意識改革が進み、様々な実践として表れてきている。
- (2) 学年ごとの取組を、全体的な取組に広げることができた。
- (3) 各教科、「数値目標を含めた具体的な目標」設定、その後、検証、対応策まで考えることができた。
- (4) 「家庭学習に関するアンケート」を実施し、家庭学習の実態を把握することができた。
- (5) 家庭学習の充実を図るための、「宅習のススメ」及び「学習のてびき」をつくることができた。
- (6) 「家庭学習に関するアンケート」を1学期と3学期に実施し、その集計結果より、各学年ともに1週間の学習する日数、1日の学習時間が増え、テスト前に計画を立てて取り組む生徒が増えた。
- (7) 「生徒による授業評価」を学期ごとに実施し、その結果をもとに、各教師が積極的に授業改善を行い、教師自身の授業に対する意識改革につながった。

2. 今後の課題

- (1) 学習のてびきの具体的な活用方法、それに伴う生活習慣の見直しなど、今まで以上に家庭との連携を図っていく必要がある。
- (2) 「数値目標を含めた具体的な目標」の設定の在り方及び目標を達成できなかった生徒、また達成できた生徒など、個に応じた手だての在り方を研究していく必要がある。
- (3) 様々な評価の方法を取り入れながら、生徒の意欲を高める指導が必要である。
- (4) 選択教科での取組や他の教科の授業の工夫・改善を、それぞれの教科で取り入れ実践を深める必要がある。
- (5) 「生徒による授業評価」を学校全体として計画・実践していく必要がある。
- (6) 「ファンダメンタルテスト」への取組の充実や評価方法を改善していく必要がある。

学力把握のための学校としての取組

- ・ 標準学力テスト。
- ・ 数値目標を含めた具体的な目標を設定して行う中間・期末テスト。
- ・ 各教科による検定試験。(英語検定，漢字検定，硬筆検定，数学検定)
- ・ 家庭学習に関する生徒へのアンケート。
- ・ 生徒による授業評価。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・本校の実践の取組内容を研究発表会で報告及び資料配布。
- ・本校で作成した「学習のススメ&学習のてびき」を市内小中学校に配布。
- ・ホームページを作成し掲載。(4月予定)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度から継続校

【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無